



# 羽田空港新飛行経路

## について

### 羽田空港新飛行経路とは

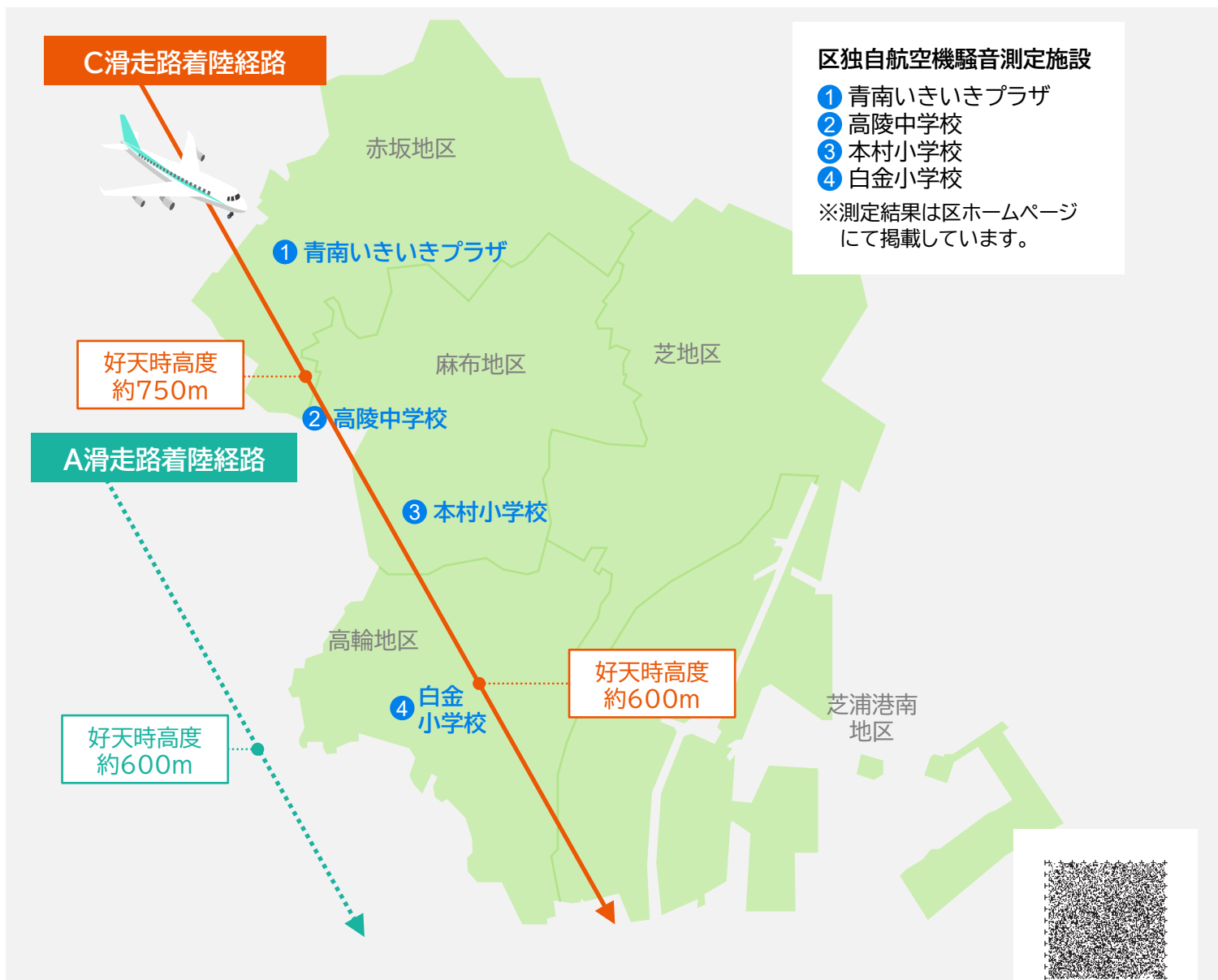
国は、「増え続ける国際線需要に対応し、東京の国際競争力を強化するため、羽田空港の発着容量を拡大すること」及び、「千葉県との航空機騒音負担の公平化、安全性の確保、運用の安定性」をめざし、羽田空港に着陸する航空機が港区上空を飛行する、羽田空港新飛行経路の運用を令和2年3月29日から開始しました。

羽田空港新飛行経路を活用して羽田空港の離発着回数を年間50万回まで拡大することにより、国際線需要増加や訪日客拡大に対応し、国際競争力向上、日本経済の活性化、地域振興を図ることを目的としています。

### 羽田空港新飛行経路の運用について

運用時間 南風時の午後3時～午後7時までのうち約3時間

運用本数 上記時間において1時間あたり最大、A滑走路（点線）に約14便、C滑走路（実線）に約30便



## 羽田空港新飛行経路に係る区の実組

羽田空港新飛行経路の運用に伴い、区民の皆様からは騒音や落下物等に対する不安の声が寄せられています。区は区民の安全・安心と生活環境を守る立場から、国の責任において、区民の不安や疑問の払しょくに向けたきめ細かな情報提供や丁寧な説明の実施、さらなる安全対策や騒音対策等に積極的に取り組むよう、国に求め続けています。

令和6年8月及び令和7年2月には、区長と区議会議長が国土交通省を訪れ、羽田空港新経路において騒音軽減等の観点から見直しが可能な方策について検討する、「羽田新経路の固定化回避に係る技術的方策検討会」（以下、「検討会」といいます。）及び住民説明会の早期開催を要請しました。

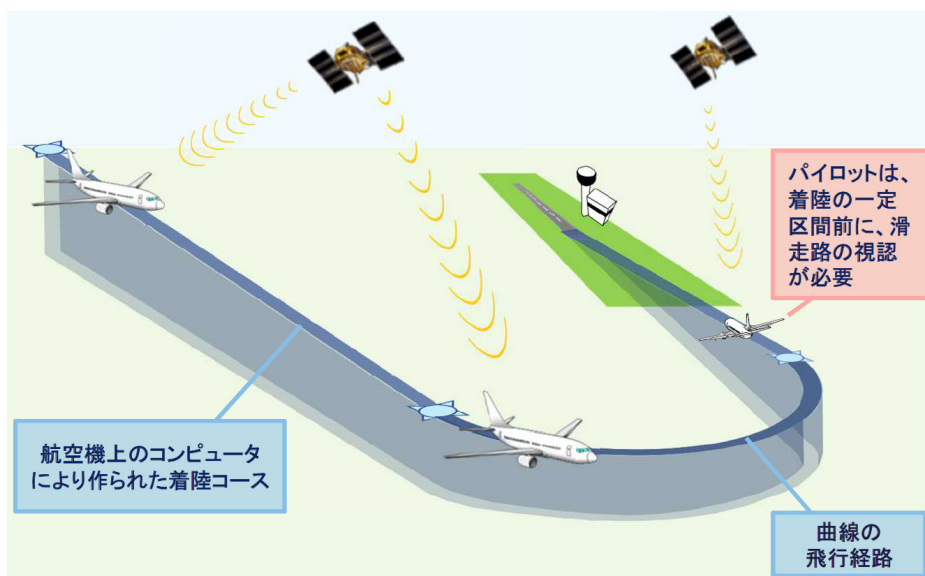
これらの取組は、港区ホームページ上で公表しています。

## 羽田空港新飛行経路に係る国の取組

羽田空港新飛行経路については、港区をはじめとする飛行経路下に位置する自治体が固定化回避等に関して要望を続けています。国は、最近の航空管制や航空機の技術革新の進展を踏まえ、現在の滑走路の使い方を前提とした上で、騒音軽減等の観点から見直しが可能な方策がないかについて、検討会で技術的観点からの検討を行っています。

令和7年12月に開催された検討会では、東京湾上空のみを飛行して離着陸するルート（海上ルート）の実現に向けて、RNP-AR方式\*の導入について報告がありました。検討会の内容について詳しくは、国が令和8年2月末から3月にかけて区内全戸に配布したリーフレット「羽田空港のこれから」又はホームページ「羽田空港のこれから」をご覧ください。

※RNP-AR方式：GPSからの信号を元に自機の位置を把握しながら計算して飛行する方式であり、柔軟な着陸経路を設定できる可能性があることから、海上ルートの実現に向けて検討されています。

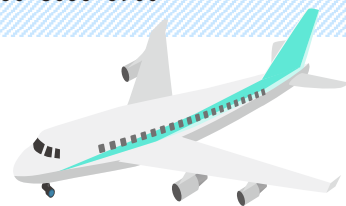


RNP-AR方式（国土交通省ホームページより）

### 羽田空港新飛行経路に関する問合せ

電話での問合せ  
受付時間：午前7時～午後8時  
(土・日曜、祝日含む)

0570-001-596 (ナビダイヤル)  
050-3655-5960



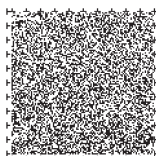
### 羽田空港のこれから(日本語)

<https://www.mlit.go.jp/koku/haneda/>



### HANEDA AIRPORT FOR TOMORROW(English)

[https://www.mlit.go.jp/koku/haneda/public/pdf/haneda\\_Pamphlet\\_english\\_vol2.pdf](https://www.mlit.go.jp/koku/haneda/public/pdf/haneda_Pamphlet_english_vol2.pdf)



### 区民アンケートに関するお問い合わせ

港区 環境リサイクル支援部 環境課 環境指導アセスメント係  
03-3578-2490～2492（平日午前8時30分～午後5時15分）